



発行日
2025.5.1

第183号

西讃地域の輝く担い手紹介⑥

全国3位の誇り、
三豊のヒマワリが咲かせる笑顔と希望



三豊花卉部会ひまわり部 役員の皆さん

香川県は出荷量が全国3位、西日本1位の切り花ヒマワリの産地です。三豊花卉部会ひまわり部では、長い日照時間と温暖な気候を活かし、36人の生産者が、年間約90万本のヒマワリを出荷しています。当地域では、ベーシックな黄色やオレンジ色のほか、八重咲きやバイカラーなど18種類の品種を栽培しています。

三豊花卉部会で生産されるヒマワリは、露地栽培だけでなく温室ハウスでも栽培されており、「母の日」や「父の日」、「ハロウィーン」といった夏以外の需要にも対応しています。さらに、「母の日」や「父の日」前には、目合わせ会を開催し、部会内での品質の均一化を図っており、市場からも高い評価を得ています。

ヒマワリは、他の切花に比べ栽培コストが低く、栽培期間も短いため、栽培に挑戦しやすい品目です。そのため近年は、若手生産者や花の栽培経験が浅い新規生産者が栽培を始めるケースが増えています。

同部の浪越久司部長は「JAや普及センターと協力して、新規生産者の育成に努めるとともに、産地の出荷情報や販売状況について、花市場と積極的に意見交換を行い、有利販売に繋げていきたい」と抱負を語ってくれました。

スクミリンゴガイ対策(移植時)のポイント

スクミリンゴガイ対策は、「**ほ場の中に入らせない・食べさせない**」ことを意識して実施します。

1. ほ場の中に入らせない

- 水口に**9mm目合いの網**を設置します。



侵入防止ネットの設置



田植後3週間までの苗を食害します！

水深が1～2cmのときは地中に潜ります。

薬剤は、活動し始めてから使用すると効果が高いです！

2. 食べさせない

- 田植後3週間まで浅水(1cm程度)で管理します。
雑草が多いほ場では、初期除草剤の止水期間後に浅水にします。
- スクミリンゴガイの被害が多いほ場では、田植後すぐに薬剤を使用しましょう。

<防除薬剤例>

(10aあたり)

	使用量	使用時期・回数	備考
ジャンボたにくん	1～2kg	収穫60日前まで 両剤合わせて2回以内	散布後7日間は湛水状態にして、落水やかけ流しはしない。
スクミノン粒剤	1～4kg		

もっとたくさんお米を作りましょう！

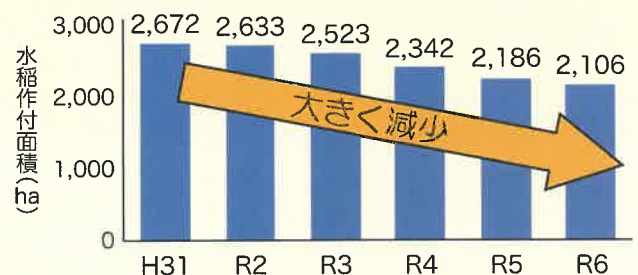
水稻の作付面積が減少しています!!

西讃地区の水稻作付面積は、年**100haほど減少**しています。



水稻作付をやめると、
荒廃農地の増加や、
病害虫被害の拡大に
つながります。

西讃管内の水稻作付面積の推移



もっとたくさんお米を作りましょう!!

令和6年産米の仮渡金は、令和5年産米より増額しています！

令和7年産も全国的に米不足傾向が続く見込みで、高価格帯での取引が予想されています。

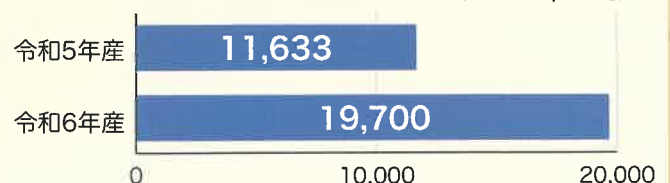


夏季の雑草の発生抑制や、
露地野菜や麦との二毛作による
収益増加が図られます！

米の収入金額の試算

(2等の場合)

(単位:円/60kg)



※令和6年産は、令和7年1月時点のJA仮精算、令和5年産は、JA最終精算で試算
いずれも主要3品種(コシヒカリ、あきさかり、ヒノヒカリ)の平均

作付拡大や、適切な栽培管理による生産量確保へのご協力をお願いいたします！



受賞おめでとうございます

第61回香川県花き品評会



農林水産大臣賞

鉢物・観葉植物(立毛)
「カランコエ」松田 敏和 様
(三豊市)

受賞名	部門	品目	受賞者	住所
農林水産大臣賞	鉢物・観葉植物(立毛)	カランコエ	松田 敏和 様	三豊市
農林水産省農産局長賞	一般切花・花木(立毛)	ラナンキュラス	中村 泰之 様	三豊市
香川県知事賞	キク(立毛)	輪ギク	清水 清昭 様	観音寺市
香川県議会議長賞	一般切花・花木(立毛)	ラナンキュラス	石井 秀一 様	三豊市
一般社団法人 日本花き生産協会会長賞	一般切花・花木	ラナンキュラス	石井 秀一 様	三豊市
香川県花き園芸協会会長賞	一般切花・花木	デルフィニウム	鈴木 敦士 様	三豊市
香川県中部青果株式会社社長賞	一般切花・花木	マーガレット	秋山 宰毅 様	三豊市
R S K山陽放送社長賞	一般切花・花木	キンギョソウ	河田 進 様	三豊市

家族経営協定調印式が開催される

令和7年3月10日(月)、西讃農業改良普及センター会議室で観音寺市の農家2戸と三豊市の農家3戸が出席し、家族経営協定の調印を行いました。

調印の後、各市農業委員会長と普及センター所長から締結者に激励の言葉が贈られました。

これからも関係機関と連携して、家族経営にたずさわる各人が意欲とやりがいを持って経営に参画できるように支援していきます。

観音寺市の家族経営協定調印者



木山家

中野家

三豊市の家族経営協定調印者



神木家

大西家

馬淵家

人事異動 退職者・転出者のお知らせ (令和7年4月1日付)

皆さん、お世話になりました。

藤村 耕一 (退職)
 佐治 博子 (所長: 東讃農業改良普及センターへ)
 中西 正憲 (所長: 農業試験場小豆オリーブ研究所へ)
 川上 清 (准教授: 農業大学校へ)
 大西 保 (副主幹: 中讃農業改良普及センターへ)
 高木 一生 (副主幹: 中讃農業改良普及センターへ)

梶野 陽子 (主席専門指導員: 農業経営課へ)
 香川 治 (副主幹: 計量検定所へ)
 真鍋 伶菜 (主任技師: 農業生産流通課へ)
 岡田 紗和 (主任技師: 農業経営課へ)
 安藤 岬 (技師: 農業生産流通課へ)

※転入者は、本誌4面の「職員紹介」をご覧ください。